

# South Wind

サウスウインド Mar. 2023 Vol.102

特集

## 第17回 世界とトモダチみやざき国際フェスタ



### Contents/ 目次

第17回 世界とトモダチ みやざき国際フェスタ .....	2,3
地域日本語教育に取り組んでいます! .....	4,5
Hear! Here Voices .....	6
宮崎県国際交流協会ニュース .....	7
INFORMATION .....	8

写真は「世界とトモダチみやざき国際フェスタ」での様子です。民族衣装をまとった方や、様々な国の国旗が並び、異国情緒あふれる雰囲気の中で多くの方が楽しんでいました。  
(※撮影時のみマスクを外しています)



公益財団法人 宮崎県国際交流協会  
<https://www.mif.or.jp>



11月27日(日)、宮交シティ3階紫陽花ホールにて、17回目となる「世界とトモダチみやざき国際フェスタ」を開催しました。当日は多くの方がご来場下さり、外国人住民との交流や県内の国際交流団体によるブース出展、ステージパフォーマンスを楽しんでいただきました。来場者からは「いろいろな国のことを知れて良かった」、「また参加したい!」という嬉しい感想をたくさんいただきました。ご来場いただいた皆さま、運営にご尽力いただいた皆さま、本当にありがとうございました!



県内在住8か国の外国人住民に母国の紹介や文化体験ができるブースを出展していただきました。来場者の皆さまも外国人住民との交流を、日本語や外国語を使って積極的に楽しまれていました。

## World Booth

世界のブース



Hello,  
I'm from Australia!



## Traditional Japanese Cultures

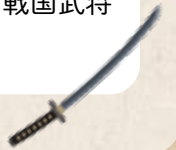
日本伝統文化体験



いざ、侍に変身!



「よろい兜の試着」体験ブースでは、絶え間なく多くの方が集まっていました。甲冑を身につけた姿は戦国時代にタイムスリップしたかのように、皆さん戦国武将になりきっていました。



## Other Booths 他協力団体



宮崎市国際交流協会



清武町国際交流協会



宮崎県ユニセフ協会



NHK 国際部



宮崎県ベトナム人協会



宮崎ブラジル親善協会

6つの国際交流団体に、活動状況等をPRするブースを出展していただきました。



# Stage Performance ステージパフォーマンス



伝統楽器の二胡演奏♪



迫力満点のブラジル柔術



アフガニスタンの民族舞踊



息ピッタリなネパールダンス



魅力満載のベトナム舞踊



エレキギターの演奏!



優雅なインドネシア舞踊



美しい音色のピアノ演奏



パワフルな歌の披露♪

## 第17回「外国人が見た宮崎」アート作品展

13か国・地域の45名の宮崎在住の外国人の方々から、写真36点、絵画7点、書道22点、手工芸4点、合計69点の展覧がありました。さまざま視点から宮崎が表現されていて、どれも素晴らしい作品ばかりで、新しい宮崎が発見されたようです。皆さまの投票により決定した今年度の最優秀作品と受賞者は次のとおりです。

### 【写真部門】



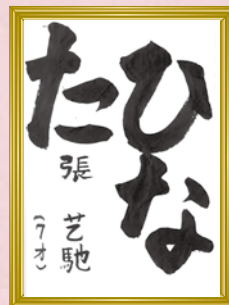
「モノクロの高千穂峡」  
ボンサトカテリンさん  
(フィリピン)

### 【絵画部門】



「I ♥ チキン南蛮」  
ヤンヘジョンさん  
(韓国)

### 【書道部門】



「ひなた」  
ちようい  
張 苜 馳 さん  
(中国)

### 【手工芸部門】



「宮崎かんこう1」  
ジンムラカミさん  
(日本)

### 来場者のコメント (一部抜粋)

- 色んな国の方々が一緒に暮らしているのを知りました。●ステキな作品が多くて一つに絞れませんでした。
- 日本人にはないカンセイが良い! ●それぞれに個性と文化が表れていて、多様性を感じた。
- 母国を離れ宮崎の地でそれぞれ頑張っておられる様子が伝わってきました。
- 宮崎のいろんなところに気づいてくれてうれしいです。

# 地域日本語教育に取り組んでいます!

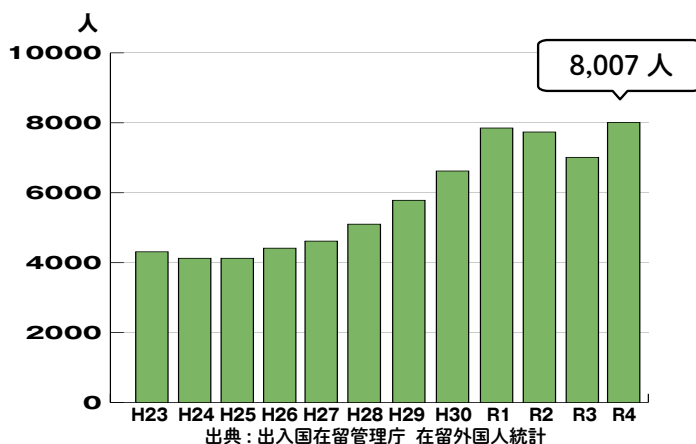
## Q1 地域日本語教育とは?

外国人が地域の一員として生活する上で「言葉の壁」が課題になります。そこで、外国人が生活に必要な日本語を習得できるよう支援するものです。

地域日本語教育によって、外国人住民が日本語を覚えるだけでなく、外国人と日本人の相互理解が深まるように、地域で日本語教育を実践しています。

## Q2

## 宮崎県にはどのくらいの外国人が暮らしているの?



## Q3

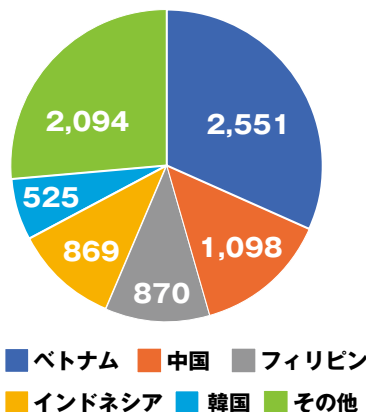
## 地域日本語教育に取り組むことで、宮崎はどうなるの?

日本人も外国人も国籍に関係なく、1人1人が地域の一員として安心して暮らせる社会づくりを目指しています。

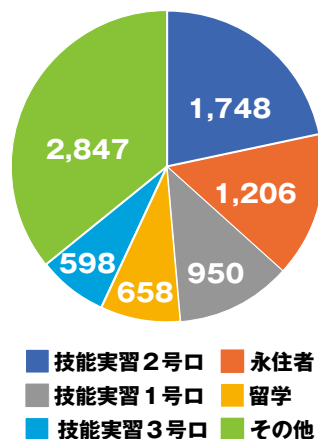
ひいては、相互理解やお互いを尊重するといった多文化共生の考えが広がり、元気な地域が増えていくことが期待されます。



県内の国籍・地域別の在留外国人人数

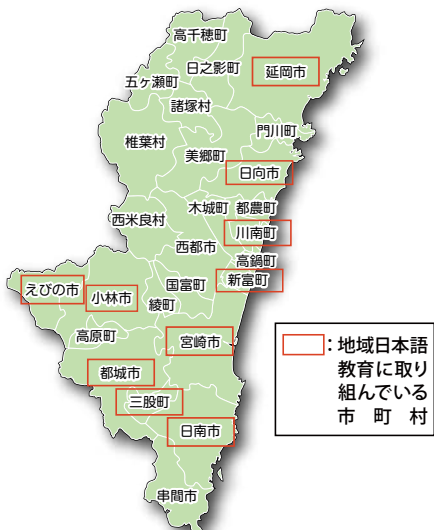


県内の在留資格別の在留外国人人数



出典：出入国在留管理庁 在留外国人統計

## 宮崎県地域日本語教育体制整備事業とは



### 事業期間

令和元年から令和5年まで

### 事業内容

外国人が生活に必要な日本語を学習するための講座等の実施や、外国人の日本語学習を支援するボランティアの養成などを行っています。これまでに多くのボランティアが外国人の日本語学習をサポートしています。県内の10市町では、すでに地域日本語教育の取組みが進んでいます。さらに、その他の市町村にも取組みが広がるように、今後も事業を進めていきます。ぜひ、お近くの地域日本語教育の取組みを覗いてみてください!

宮崎県から  
宮崎県国際交流協会が  
委託を受けて実施



## 地域日本語教室

県内各地域で、「防災」や「ごみの捨て方」など外国人住民が地域で生活する上で必要な日本語を地域住民と交流しながら学んでいます。多くの日本人の方も参加して、楽しい時間を過ごしています。

### 参加者の声



とても楽しかったです。災害や津波が発生した場合の安全を確保する方法について多くのことを学びました。



初めは英語が苦手なので不安でいっぱいでしたが、日本語がとても上手だったので、なんとか伝わり、たくさんお話ができました。



- ・ 学習支援者とは、外国人の日本語学習をサポートするためのボランティアのことです。
- ・ 地域日本語教室や日本語れんしゅう会などで活動してもらいます。



### 参加者の声

日本語支援をする中で頭に入れておきたい内容ばかりで今後役に立つと思います。

## 日本語学習支援者養成講座

外国人住民の日本語学習を支援したい人が受講しました。今年度は、多文化共生や異文化理解について学んだり、地域日本語教室に実際に参加したりしました。



## 日本語れんしゅう会

外国人住民の学習ニーズに合わせて日本語ボランティアと1対1で日本語の学習をします。



オンラインでも開催しています！



日本語講座

その他の取組みは「ひなたにほんごナビ」に掲載しています。

<https://hinatanihongo.mif.or.jp/>



日本語スピーチコンテスト R3年度の様子

# Hear! Here Voices

チョウ トウ  
張 彤 さん



中国、四川省出身。新婚生活のため10年ほど前に来日。  
現在はFLAA(宮崎市公立小学校外国人講師)として勤務する傍ら、小学1年生の一人息子の  
子育てに奮闘中。



**宮崎に住むことになった経緯を教えてください。  
また、宮崎に来た時にカルチャーショックはありましたか。**

長い間交際をしていた現在の主人が日本に留学をしていました。そして、主人が宮崎の研究室に所属した際に、遠距離恋愛のゴールとして結婚をし、私も宮崎に住むことになりました。日本に来たのはその時が初めてでした。日本、そして宮崎で生活することになるとは、人生において予定外の展開でした。

宮崎に来た時、自然が豊かで静かなところだと思いました。生まれ育ったのが都市部で、田畑を目にする機会が無く、田舎での生活に憧れもあったので、すぐに宮崎が好きになりました。カルチャーショックはあまりありませんでしたが、宮崎でゼロから日本語の勉強をしながら異文化体験をすることができました。日本は中国と同様、漢字を使う国ですが、同じ漢字でも発音が違ったり、意味が異なる場合があります。また、中国のお正月などに食べる火鍋の材料を宮崎で揃えるのが難しく、インターネットで購入したりしていました。あと、日本はパートの方など定年を超えても働いている方が多く、驚きました。しかし、欧米人と比べ、同じアジア人として肌や髪の色、そして生活様式が似ているのは、私に安心感を与えてくれました。

**宮崎の好きなところを教えてください。**

私の故郷は盆地で都市部のようなところなのですが、宮崎市は海に近いのがいいですね。青島が特に好きです。宮崎は海や山など自然に恵まれている環境なので、豊かな生活ができます。また、地産地消の食生活ができて物価も首都圏より安く、本当に住みやすいところだと実感しています。

宮崎で嫌なところはないですが、強いて言えば、実家と遠すぎて、一回の帰省に朝から一日かかるので大変です。



春节好！春節(旧正月)の料理



西都原古墳の美しい花々と



平和台公園の聖火台と

**日本語の勉強やアルバイト、出産、子育て、教育関係のお仕事と、宮崎で様々な経験をされていますが、いかがですか。**

日本語は宮崎に来て自分で勉強をしました。宮崎大学のお知らせで宮崎県国際交流協会のことを知り、国際プラザのカウンターボランティアをしたり、日本語スピーチコンテストにも挑戦しました。日本人と話したり、人前で自分の想いを伝えることが日本語の練習になりました。また、宮崎に来た当初はバスや電車で移動をしていたのですが、自分で調べて様々なところを探検したことも勉強になったと思います。車窓から見える田園風景もとても好きでした。

アルバイトもいくつか経験しましたが、中国語を教えることは今でも続けています。今の生徒さんの一人は、中国に語学留学をするためにHSK4級(中国政府公認の世界共通テスト)を目指していて、一緒に頑張っています。

宮崎で初めて出産をしたのですが、中国の両親も来てくれ、医師とのコミュニケーションも日本語でできたので、実は特に不便なことはありませんでした。

大学時代に教育を専攻していたのですが、宮崎に来て10年の間にいろいろな小学校で先生や児童とたくさん素敵な出会いがあり、ありがたいです。

現在は小学校のFLAAとして働いています。英語の授業で先生のサポートをしています。中国の小学生の一日についてなど、中国について話をすることもあります。日本の小学校はほぼ全教科、1人の先生が担っていてとても大変だと思っています。中国は教科によって先生が変わっていたので最初は驚きました。

これまでの教育現場での経験を活かして、現在は小学一年生の息子と家で英語を勉強したり、国際理解教育をしています。息子は日本生まれ、日本育ちですが、中国語もできるようになってほしいので、家ではできるだけ中国語で話すようにしています。また、息子の成長に伴い、日本の幼稚園や小学校の生活や行事と一緒に体験して、たくさん思い出を作っています。

**これから挑戦してみたいことはありますか。**

息子が宮日音楽コンクールに出場し、組別唯一の優秀賞をいただいたのですが、その息子に負けずに、私もピアノとバレエの練習を頑張りたいです。子供の頃、中国舞踊を習っていたのですが、バレエは全然違うので難しいです。しかし、運動不足解消のためにも続けたいと思っています。

私たち家族はずっと宮崎に住みたいと思っています。WITHコロナの今、微力ながら故郷の中国四川と第二故郷の宮崎とのかけ橋を作りたいです。



バレエの発表会



# 宮崎県国際交流協会 ニュース

● 次の講座を開催しました。 ●

## 外国人災害サポートボランティア養成講座(都城市)

9月10日(土)に、都城市総合文化ホール会議室で外国人災害サポートボランティア養成講座を開催しました。講師に北御門 織絵 氏を迎え、「みんなで一緒に考えよう」をテーマに外国人を含めたグループで災害時に外国人が直面する課題について話し合った後、やさしい日本語を使って災害情報を伝えるワークショップを実施しました。参加者からは、「災害時の外国人の状況が理解できた」、「(外国人ではあるが)今後サポーターとして活躍したい」といった意見が聞かれました。



## 外国人住民向け防災セミナー(宮崎市)

9月17日(土)に、宮崎市中央公民館大研修室にて、外国人住民向け防災セミナーを開催しました。日本の災害について、セミナー翌日に九州地方へ上陸した台風14号への備え方などについて防災士の田代 智和 氏からお話を聞いた後、「119番通報訓練」、「ハザードマップの確認」、「非常時持ち出し道具の確認」のブースを巡りました。参加した外国人の方の中には、母国では普段、日本のような災害が発生しないという方もおり、熱心に質問をする様子もみられました。



## 日本伝統文化体験 お箏

宮崎県総合文化博物館の古民家で、10月22日(土)「箏を楽しもう」 in 古民家を開催し、9名の宮崎県在住の外国人に参加いただきました。藤田順子氏をはじめ、あやね箏アンサンブルの3名の講師の方々の箏演奏を堪能した後、実際に爪を付けて「さくらさくら」を練習しました。40分の練習の後、先生方と合奏も体験しました。古民家の静かな雰囲気の中、美しい箏の調べを通して日本の伝統文化を楽しんでいただけたようです。



## 国際理解講座 台湾編

10月29日(土)に、台湾台北出身の椎葉玲子さんを講師に迎え、台湾の衣食住や日本との違い、観光景勝地などについてお話をいただきました。台湾銘菓のパイナップルケーキと台湾茶をいただきながら、ガイドブックには載らないようなディープな台湾情報を聞くことができ、参加者のみなさんは「台湾へ行ってみたい」という気持ちが益々強まったようです。



## 国際交流団体・市町村等を対象にした多文化共生に関する講座

11月30日(水)に、ハワイ大学マノア校客員研究員の下地ローレンス吉孝氏を講師に迎え、オンライン多文化共生講座「『マイクロアグレッション』一日常で意図せず相手を傷つけないために」を開催しました。講座では、ハーフの方々へのインタビューをもとに具体的なマイクロアグレッションの事例を挙げ、その定義と背景、問題点について詳しく説明していただきました。



## 国際理解講座 ドイツ編

12月3日(土)に都城市で開講したこの講座では、ドイツに行ったらぜひ訪れてほしい7つの地方都市を、ドイツ出身で都城在住のベルガー・ラースさんに紹介していただきました。美しい建物や自然の写真を見ながら、それぞれの都市の歴史的文化的背景などを伺いました。受講者のみなさんは、ドイツを身近に感じながら是非行きたい!と思われていたようでした。



## ちよっぴい

## 「外国人との共通言語」

スタッフ 神 祐子



皆さんの周りで外国人の方はいらっしゃいますか？直接お話したことはなくても、見かけることはあるかもしれません。

皆さんは、外国人とコミュニケーションをとるために、どうしますか？外国人と話す＝英語で話す、とイメージする方も多いかもかもしれません。でも…私自身もそうですが、全ての外国人が英語を喋れるというわけではないのです。

県内では8,007名（R4.6月末）の外国人が住んでいますが、一番多いのはベトナムの方、次が中国の方と続きます。また、日本語のレベルも様々です。このように多くの国の方が生活している日本において、注目されているのが「やさしい日本語」です。

「やさしい日本語」は阪神・淡路大震災がきっかけで始まりました。外国人被災者のために確実に情報を伝えるためには、母語を使うのが最も有効ですが、翻訳には時間がかかってしまいます。災害時は、発災後「72時間」が生死を分けると言われており、速やかに情報を伝達する必要があります。そこで、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」を使うことが広がってきたのです。

「やさしい日本語」とは、外国人や障がい者、高齢者や子どもにもわかりやすい言葉や表現にした日本語です。「やさしい」には、簡単にするという「易しい」と

相手を気遣う「優しい」の二つの意味があると言われています。「やさしい日本語」のポイントは、一文を短くして、簡単な言葉で、敬語ではなく「です・ます」調を使うということです。

やさしい日本語ラップ「やさしい せかい」は、わかりやすく「やさしい日本語」がラップで説明されています。ぜひ見てみてください！

宮崎で日々の暮らしを過ごしている外国人の方にとって、「日本語」を理解し、自分が言いたいことを「日本語」で話せることは、生活の質に関しても大きな影響があると思います。

同じ地域に暮らす住民同士のコミュニケーションとして、「やさしい日本語」は一つの手段となるでしょう。そのためには、私たち日本人が「やさしい日本語」を知ること、そして、外国人の方へ「優しい」気持ちで「易しい」日本語で会話を…外国人の方と触れ合う機会が増えた今、少しずつでも、そんなコミュニケーションが地域で広がってほしいと考える今日この頃です。



やさしい日本語ラップ「やさしい せかい」

## INFORMATION

## 各講座について

## 【英語・韓国語・中国語チャット】

宮崎在住の外国人ボランティアを囲んで、英語・中国語・韓国語で会話をします。外国人と交流をしたい人向けの講座です。

## 【国際理解講座】

いろいろな国々の方を講師に迎え、その国の歴史や文化、生活の様子をお話していただきます。直接お話を聞くことで、あらたな魅力が発見できます。

## 【外国人のための日本語講座】

県内在住の外国人の方を対象に日本語講座を対面とオンラインで開催します。

初めて日本語を学ぶ人や、日本語の「読む」「書く」を学びたい人が対象です。

※詳細については、決まり次第HPやブラザニュースでお知らせします。

## 日本語ボランティア紹介

日本語講座や日本語れんしゅう会に参加できない外国人の方に、日本語ボランティアを紹介します。学習場所や時間、内容は当事人同士で決めます。

【対象】 宮崎県に住む外国人

【問い合わせ】 (公財)宮崎県国際交流協会

## みやざき外国人サポートセンターからのお知らせ

みやざき外国人サポートセンターでは、県内在住の外国人のみなさんからの生活に関する相談を対面・電話・メール・オンライン(ZOOM)で受け付けています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問合せ】 みやざき外国人サポートセンター

T E L : 0985-41-5901

F A X : 0985-41-5902

E-mail : support@mif.or.jp

U R L : https://support.mif.or.jp



Website



Facebook



Instagram

## ◆ 賛助会員 入会のご案内 ◆

会 費 : 個人会員 年間1口 2,000円 団体会員 年間1口 10,000円

特 典 : 協会発行の定期刊物「ブラザニュース(日・英・中・韓)」、「South Wind」等の提供、協会開催事業への先行案内・優先参加、協会開催講座の参加割引、協会HPから団体HPにリンク可能(希望団体のみ)



# South Wind

サウスウィンド  
Mar.2023 Vol.102



企画・編集 公益財団法人 宮崎県国際交流協会 第102号 2023年3月発行

〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階 TEL.0985-32-8457 FAX.0985-32-8512

● URL <https://www.mif.or.jp/> ● E-mail [miyainfo@mif.or.jp](mailto:miyainfo@mif.or.jp)

## 情報・意見などをお寄せください。

外国人との交流会など、国際交流に関する催しを計画している団体やサークルの情報をお待ちしております。また、国際交流に関する話題や体験談、意見なども協会にお寄せください。本誌に対する要望もお待ちしております。



開館時間: 火～土 / 10:00～19:00  
休館日: 日・月・祝日・12月29日～1月3日